

○立命館大学大学院人間科学研究科研究科則

2017年2月17日

規程第1109号

(趣旨)

第1条 この研究科則は、立命館大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第49条の2にもとづき、人間科学研究科の授業科目、修了に必要な単位数、単位認定その他の教育課程に関する事項について定める。

(教育研究上の目的)

第2条 本研究科は、心理学とその隣接領域の科学的、総合的知識にもとづいて包括的に人間を理解し、理論と実践を相互還流させる高度な技能と対応力を身につけることで、人々のニーズや社会的要請を適切に捉えて、学術と社会の発展に貢献することができる人材を育成することを目的とする。

2 本研究科は、人間科学専攻博士課程前期課程に心理学領域、臨床心理学領域、実践人間科学領域の3領域を置き、心と行動の理論的、実証的研究および臨床と支援の実践的研究を行う。本課程は、これらの人間科学研究を通じて、国際的かつ総合的視野を持って学術の発展と社会の進歩、安寧に貢献できる人材の育成を目的とする。

3 本研究科は、人間科学専攻博士課程後期課程において、高度に専門的な研究能力と技能にもとづいて、心と行動に関する人類の知を拡大し、総合的、倫理的な視点から複雑な社会の問題の解決に貢献することができる人材の育成を目的とする。

(研究科、専攻および課程の英文表記)

第3条 研究科、専攻および課程の英文表記は次の各号のとおりとする。

- (1) 人間科学研究科 Graduate School of Human Science
- (2) 人間科学専攻 Human Science Major
- (3) 博士課程前期課程 Master's Program in Human Science
- (4) 博士課程後期課程 Doctoral Program in Human Science

(入学時期)

第4条 本研究科の入学時期は、4月とする。

(授業言語)

第5条 本研究科での授業言語は、日本語または英語とする。

(教育課程の編成)

第6条 人間科学専攻博士課程前期課程の授業科目は、共通科目および専門科目に区分し、

これを2年間に配当して編成する。

- 2 専門科目は、演習、公認心理師、領域専門に区分し、領域専門は、心理学領域、臨床心理学領域および実践人間科学領域に区分する。
- 3 前1項に定める授業科目のほか、人間科学専攻博士課程前期課程および人間科学専攻博士課程後期課程に研究科横断科目を設ける。

(授業科目)

第7条 本研究科の授業科目の名称、単位数、授業方法、必修科目・選択科目・自由科目の別および配当年次は、人間科学専攻博士課程前期課程においては別表1、人間科学専攻博士課程後期課程においては別表2のとおりとする。

- 2 研究科横断科目の授業科目の名称・単位数、授業方法、必修科目・選択科目・自由科目の別および配当年次は、立命館大学大学院研究科横断科目規程に定める。

(領域専門の履修方法)

第8条 専門科目内の領域専門については、心理学領域、臨床心理学領域または実践人間科学領域のうちいずれかを選択のうえ、指導教員の指導に従い、選択した領域の授業科目を履修しなければならない。

(博士課程前期課程の修了に必要な単位数)

第9条 人間科学専攻博士課程前期課程の修了に必要な単位数は、別表1に定める授業科目のうち、次の各号に定めるところに従い修得する30単位以上とする。

- (1) 共通科目 4 単位以上
- (2) 専門科目のうち演習科目 8 単位
- (3) 専門科目のうち選択した領域の領域専門科目別表に定める必修・選択・自由の別を必修とする授業科目を含めて10単位以上

(博士課程前期課程の早期修了の申請)

第9条の2 次の各号に定める事項を全て満たし、大学院学則第29条ただし書により修了すること（以下「前期課程早期修了」という。）を希望する者は、研究科長に申し出なければならない。

- (1) 前条に定める単位数を取得し、かつ、修士論文の審査に合格する見込みがあること
- (2) 大学院学則第29条ただし書に規定する在学期間を満たす見込みがあること
- (3) 研究指導教員の推薦があること
- (4) 修士論文を構成する研究成果の主要部分が、単著または第1著者として査読つき学術雑誌に論文として公刊されている、または掲載が可能な水準に達しており、掲載見込

みがあること

2 前項の申出は、次の各号に掲げる期日までに行わなければならない。ただし、期日が土曜日、日曜日または祝日となる場合は、直前の平日とする。

- (1) 3月修了を希望する者は、当該年度の9月末日
- (2) 9月修了を希望する者は、前年度の3月末日

3 その他前期課程早期修了に関する事項は、人間科学研究科教授会（以下「研究科教授会」という。）において定める。

（前期課程早期修了の認定）

第9条の3 前期課程早期修了の申請を認められた者について、次の各号に定める事項を全て満たした場合、研究科長は、研究科教授会の議を経て前期課程早期修了を認める。

- (1) 大学院学則第29条に規定する修了要件を満たしていること。ただし、在学期間に関する要件を除く
- (2) 大学院学則第29条ただし書に規定する在学期間を満たすこと
- (3) 修士論文を構成する研究成果の主要部分が、単著または第1著者として査読つき学術雑誌に論文として公刊、または掲載予定証明書が発行されていること

（博士課程後期課程の修了に必要な単位数）

第10条 人間科学専攻博士課程後期課程の修了に必要な単位数は、別表2に定める授業科目のうち、7単位以上とする。

（博士課程後期課程の早期修了の申請）

第10条の2 次の各号に定める事項をすべて満たし、大学院学則第32条第2項により修了すること（以下「後期課程早期修了」という。）を希望する者は、研究科長に申し出なければならない。

- (1) 大学院学則第32条第1項に規定する修了要件を満たす見込みがあること。ただし、在学期間に関する要件を除く
 - (2) 在学期間が1.5年以上であること。ただし、前期課程早期修了の制度を利用し、引き続き後期課程に進学してきた者については、後期課程の標準修業年限である3.0年から前期課程在籍期間を引いた期間を満たす見込みがあることとする
 - (3) 研究指導教員の推薦があること
 - (4) 博士論文を構成する研究成果の主要部分が、単著または第1著者として査読つき学術雑誌に論文として1点以上公刊されている、または掲載が決定されていること
- 2 前項の申出は、次の各号に掲げる日までに行わなければならない。ただし、期日が土曜

日、日曜日または祝日となる場合は、直前の平日とする。

(1) 3月修了を希望する者は、当該年度の9月末日

(2) 9月修了を希望する者は、前年度の3月末日

3 その他後期課程早期修了に関する事項は、研究科教授会において定める。

(後期課程早期修了の認定)

第10条の3 後期課程早期修了の申請を認められた者について、次の各号に定める事項をすべて満たした場合、研究科長は、教授会の議を経て後期課程早期修了を認める。

(1) 大学院学則第32条第1項に規定する修了要件を満たしていること。ただし、在学期間にに関する要件を除く

(2) 在学期間が1.5年以上であること。ただし、前期課程早期修了の制度を利用し、引き続き後期課程に進学してきた者については、後期課程の標準修業年限である3.0年から前期課程在籍期間を引いた期間を満たしていること

(3) 博士論文を構成する研究成果の主要部分が、単著または第1著者として査読つき学術雑誌に論文として1点以上公刊されており、博士論文の水準にふさわしいものとなっていること。ただし、前期課程早期修了の制度を利用して、引き続き後期課程に進学してきた者の場合は、後期課程在学中に単著または第1著者として査読つき学術雑誌に論文として1点以上公刊されていること

(他研究科の授業科目の履修)

第10条の4 大学院学則第37条にもとづき、本大学の他研究科の授業科目を履修することができるが、修得した単位は、修了に必要な単位に含めることはできない。

(長期にわたる教育課程の履修)

第11条 大学院学則第28条の2にもとづき、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを申し出た者のうち、期間の定めの有無にかかわらず雇用されている者、個人事業主等として報酬を得て活動をしている者または非営利活動法人に関わる活動、ボランティア活動等の報酬を得ない活動をしている者には、研究科教授会の議を経て、研究科長が許可することがある。

(臨床心理士受験資格)

第12条 人間科学専攻博士課程前期課程において臨床心理学領域を選択した者が臨床心理士受験資格を取得しようとするときは、立命館大学学位規程第9条により修士学位を授与され、かつ、公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会が指定する別表3に定める授業科目を履修し、当該別表に定める各区分についてそれぞれ必要な単位数を修得しなければな

らない。

(公認心理師受験資格)

第12条の2 人間科学専攻博士課程前期課程において公認心理師受験資格を取得しようとするときは、立命館大学学位規程第9条により修士学位を授与され、かつ、公認心理師法施行規則第2条で規定された別表4に定める授業科目を履修し、当該別表に定める各区分についてそれぞれ必要な単位数を修得しなければならない。

(改廃)

第13条 この研究科則の改廃は、人間科学研究科教授会の議を経て、大学協議会で行う。

附 則

この研究科則は、2018年4月1日から施行する

附 則（2018年4月20日 公認心理師法の施行に伴う授業科目の追加および名称の変更に伴う一部改正）

この研究科則は、2018年4月20日から施行し、2018年4月1日から適用する。

附 則（2019年3月1日 早期修了制度の設置に伴う一部改正）

この研究科則は、2019年4月1日から施行する。

附 則（2022年1月14日 人間科学研究科の領域再編、授業科目の追加および削除ならびに公認心理師受験資格に関わる授業科目の整備に伴う一部改正）

1 この研究科則は、2022年4月1日から施行する。

2 前項にかかわらず、2022年3月31日に在籍する学生については、なお従前の例による。

附 則（2024年7月26日 研究科横断科目の設置に伴う一部改正）

この研究科則は、2025年4月1日から施行する。

附 則（2025年1月10日 博士課程後期課程の英文表記の修正ならびに人間科学専攻博士課程前期課程および人間科学専攻博士課程後期課程の授業科目の配当年次の修正に伴う一部改正）

1 この研究科則は、2025年4月1日から施行する。

2 前項にかかわらず、改正後の第3条の規定は、2018年4月1日から適用する。

3 第1項にかかわらず、改正後の別表1は、2022年4月1日から適用する。

4 第1項にかかわらず、改正後の別表2は、2018年4月1日から適用する。

別表1 人間科学専攻博士課程前期課程の授業科目

科目区分	科目名	単位数	授業方法	必修・選択・自由の別	配当年次
------	-----	-----	------	------------	------

共通科目	社会のなかの人間科学	2	講義	選択	1・2	
	心理学研究法	2	講義	選択	1・2	
	質的研究法	2	講義	選択	1・2	
	心理学統計法（基礎）	2	講義	選択	1・2	
	心理学統計法（展開）	2	講義	選択	1・2	
	人間科学特論	2	講義	選択	1・2	
専門科目	演習	演習 I	2	演習	必修	1・2
		演習 II	2	演習	必修	1・2
		演習 III	2	演習	必修	2
		演習 IV	2	演習	必修	2
	公認心理師	心理実践実習 I	2	実験・実習	選択	1・2
		心理実践実習 II	2	実験・実習	選択	2
		公認心理師カンファレンス I (心理実践実習)	2	実験・実習	選択	1・2
		公認心理師カンファレンス II (心理実践実習)	2	実験・実習	選択	2
		公認心理師学外実習 I (心理実践実習)	2	実験・実習	選択	1・2
		公認心理師学外実習 II (心理実践実習)	2	実験・実習	選択	2
領域専門	心理学領域	基礎心理学特論	2	講義	選択	1・2
		認知心理学特論	2	講義	選択	1・2
		教育心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	2	講義	選択	1・2
		発達心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	2	講義	選択	1・2
		社会心理学特論	2	講義	選択	1・2
		教育評価・心理査定特論（心理評価・心理査定の実践）	2	講義	選択	1・2

		理的アセスメントに関する理論と実践)				
		家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	2	講義	選択	1・2
		老年心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	2	講義	選択	1・2
		司法・犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	2	講義	選択	1・2
		産業・組織心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）	2	講義	選択	1・2
		健康心理学特論（心の健康教育に関する理論と実践）	2	講義	選択	1・2
		教授・学習学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	2	講義	選択	1・2
		生徒指導・進路指導特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	2	講義	選択	1・2
		臨床心理学研究（心理支援に関する理論と実践）	2	講義	選択	1・2
臨 床 心 理 學 領		臨床心理学特論Ⅰ	2	講義	必修	1・2
		臨床心理学特論Ⅱ	2	講義	選択	1・2
		臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）	2	演習	必修	1・2
		臨床心理査定演習Ⅱ	2	演習	選択	1・2

		域	臨床心理面接特論 I (心理支援に関する理論と実践)	2	講義	必修	1・2
			臨床心理面接特論 II	2	講義	選択	1・2
			グループアプローチ (家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	2	講義	選択	1・2
			心理療法特論	2	講義	選択	1・2
			社会病理学特論 (司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	2	講義	選択	1・2
			精神医学特論 (保健医療分野に関する理論と支援の展開)	2	講義	選択	1・2
			臨床心理学基礎実習	2	実験・実習	必修	1・2
			臨床心理学実習 (心理実践実習)	2	実験・実習	必修	1・2
		実践	コミュニティ心理研究	2	講義	選択	1・2
		人間	ナラティヴとケア	2	講義	選択	1・2
		科	学校カウンセリング研究 (教育分野に関する理論と支援の展開)	2	講義	選択	1・2
		学	実践人間科学特論	2	講義	選択	1・2
		領	ソーシャルワーク研究 (福祉分野に関する理論と支援の展開)	2	講義	選択	1・2
		域	ユースワーク研究	2	講義	選択	1・2
			司法臨床研究 (司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	2	講義	選択	1・2

	対人援助技術研究（心理的アセスメントに関する理論と実践）	2	講義	選択	1・2
	認知行動療法研究（心理支援に関する理論と実践）	2	講義	選択	1・2
	障害児教育研究（教育分野に関する理論と支援の展開）	2	講義	選択	1・2
	学外実習	2	実験・実習	必修	1・2
	インターンシップ	2	実験・実習	選択	1・2
	臨床心理地域援助研究	2	講義	選択	1・2
	心理プラスCom(PBL)	2	演習	選択	1・2

別表2 人間科学専攻博士課程後期課程の授業科目

科目名	単位数	授業方法	必修、選択、自由の別	配当年次
人間科学シンポジオンⅠ	1	演習	選択	1・2・3
人間科学シンポジオンⅡ	1	演習	選択	2・3
人間科学シンポジオンⅢ	1	演習	選択	3
人間科学プロジェクト演習Ⅰ	2	演習	選択	1・2・3
人間科学プロジェクト演習Ⅱ	2	演習	選択	1・2・3
人間科学プロジェクト演習Ⅲ	2	演習	選択	2・3
人間科学プロジェクト演習Ⅳ	2	演習	選択	2・3
人間科学プロジェクト演習Ⅴ	2	演習	選択	3
人間科学プロジェクト演習Ⅵ	2	演習	選択	3

別表3 公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会が指定する授業科目

区分	必要単位数	科目名	単位数	必修、選択、自由の別
臨床心理学特論	4	臨床心理学特論Ⅰ	2	必修
		臨床心理学特論Ⅱ	2	必修
臨床心理面接特論	4	臨床心理面接特論Ⅰ（心2）	2	必修

		理支援に関する理論と 実践)		
		臨床心理面接特論 II	2	必修
臨床心理査定演習	4	臨床心理査定演習 I (心 理的アセスメントに關 する理論と実践)	2	必修
		臨床心理査定演習 II	2	必修
臨床心理基礎実習	2	臨床心理学基礎実習	2	必修
臨床心理実習	2	臨床心理学実習 (心理実 践実習)	2	必修
(A群) 心理統計法特論 臨床心理学研究法特論	2	心理学統計法 (基礎)	2	選択
		心理学統計法 (展開)	2	選択
		演習 I	2	選択
		演習 II	2	選択
		演習 III	2	選択
(B群) 発達心理学特論 教育心理学特論 認知心理学特論	2	発達心理学特論 (福祉分 野に関する理論と支援 の展開)	2	選択
		教育心理学特論 (教育分 野に関する理論と支援 の展開)	2	選択
		認知心理学特論	2	選択
(C群) 社会病理学特論 家族心理学特論	2	社会病理学特論 (司法・ 犯罪分野に関する理論 と支援の展開)	2	選択
		家族心理学特論 (家族関 係・集団・地域社会にお ける心理支援に関する 理論と実践)	2	選択
(D群) 精神医学特論	2	精神医学特論 (保健医療)	2	選択

老年心理学特論		分野に関する理論と支援の展開)		
		老年心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	2	選択
(E群) 学校臨床心理学特論 グループ・アプローチ特論 心理療法特論 臨床心理地域援助特論	2	グループアプローチ（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	2	選択
		心理療法特論	2	選択

別表4 公認心理師法施行規則第2条に規定された授業科目

公認心理師法施行規則に定める科目	科目名	単位
保健医療分野に関する理論と支援の展開	精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	2
福祉分野に関する理論と支援の展開	老年心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	2
	発達心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）	2
	ソーシャルワーク研究（福祉分野に関する理論と支援の展開）	2
教育分野に関する理論と支援の展開	教育心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	2
	学校カウンセリング研究（教育分野に関する理論と支援の展開）	2
	教授・学習学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	2
	生徒指導・進路指導特論（教育分野に関する理論と支援の展開）	2

	育分野に関する理論と支援の展開)	
	障害児教育研究（教育分野に関する理論と支援の展開）	2
司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	社会病理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	2
	司法臨床研究（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	2
	司法・犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	2
産業・労働分野に関する理論と支援の展開	産業・組織心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）	2
心理的アセスメントに関する理論と実践	臨床心理査定演習 I（心理的アセスメントに関する理論と実践）	2
	教育評価・心理査定特論（心理的アセスメントに関する理論と実践）	2
	対人援助技術研究（心理的アセスメントに関する理論と実践）	2
心理支援に関する理論と実践	臨床心理面接特論 I（心理支援に関する理論と実践）	2
	認知行動療法研究（心理支援に関する理論と実践）	2
	臨床心理学研究（心理支援に関する理論と実践）	2

家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	グループアプローチ（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	2
	家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	2
心の健康教育に関する理論と実践	健康心理学特論（心の健康教育に関する理論と実践）	2
心理実践実習	臨床心理学実習（心理実践実習）	2
	心理実践実習 I	2
	心理実践実習 II	2
	公認心理師カンファレンス I (心理実践実習)	2
	公認心理師カンファレンス II (心理実践実習)	2
	公認心理師学外実習 I (心理実践実習)	2
	公認心理師学外実習 II (心理実践実習)	2